

行政評価シート(令和元年度実施事業)

1 事務事業名・総合計画の体系等

第3期実施計画の事業名	橋りょう長寿命化事業				財務会計上の事業名	橋りょう長寿命化事業
第3期実施計画の区分章/節(施策)/項目/事業番号	1	4	1	1	担当部署名	道路・河川課
総合計画の体系	章	第1章にぎわいと活力あふれるまち				
	節(施策)	第4節道路網の整備				
	項目	項目1計画的な道路整備・管理の推進				

2 事業の概要

実施期間(第3期実施計画期間)	令和元年度～令和4年度
事業内容	橋梁及び横断歩道橋の継続的な補修及び補強工事を実施する。
めざす姿(目標)	従来の事後的な修繕から予防的な修繕へと円滑な転換を図ることにより、地域の安全・安心な道路網を確保する。
事業の対象(誰を、何を)	市道に架かる橋りょう及び横断歩道橋
事業の手段・方法(どのように)	橋りょう長寿命化計画に基づく修繕工事を行う。
実施形態(直営/委託)	一部委託
関連計画	・池田市橋梁長寿命化修繕計画

3 事業費等

区分	H30年度	R元年度	R2年度	指標値(活動・成果)	指標の内容	実施計画策定時(H30年度)	実績(R元年度)	目標値(R4年度)
	(決算)	(決算)	(予算)					
事業費(千円) A	120,053	84,582	123,000	橋梁修繕数	10橋	14橋	30橋	
主な内訳	委託料	35,057	24,970	32,000	横断歩道橋修繕数	1橋	4橋	7橋
	請負費	84,996	59,612	91,000				
☆成果の達成状況					A.順調に推移している			
財源	国・府支出金	65,708	44,825	67,650	・上記「達成状況」選択の理由	橋りょうの延命化を図ることができているため。		
	地方債	38,600	22,800	49,800		☆目標達成のための有効な事業内容となっているか		
	その他()				☆事業は効率的に実施できているか			
	うち受益者負担 B				A.効率的である(改善の余地がない)			
一般財源 C	15,745	16,957	5,550	・上記「有効性・効率性」選択の理由	橋りょう修繕計画に沿って補修工事を実施し、安心・安全な道路網を確保でき、かつライフサイクルコストの縮減を図ることができるため。			
一般財源比率 C÷A	13.1%	20.0%	4.5%					
受益者負担率 B÷A								

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

5 事業の現状と今後の見通し

<p>本事業をとりまく状況の変化(社会情勢・ステークホルダー・要望等)</p> <p>池田市の管理する橋梁は、建設後50年を経過する橋梁も多く、20年後には、急速に老朽化橋梁が増大し、更新時期が一時期に集中することが予想される。そこで、限られた予算の中、計画的かつ効果的に事業を進めていくために、平成22年3月に長寿命化計画を策定し、国の交付金を活用しながら、計画的に橋梁補修や耐震化を進めているところ。令和2年度より、国の予算の中で、橋梁を含めた道路の老朽化対策において、計画的かつ集中的に支援する個別補助制度が創設されたところ。今後は、国の補助金を活用しながら、より一層、計画的かつ効果的に事業をすすめていく予定。</p>	
<p>目標達成に向けた課題</p> <p>道路橋127橋や横断歩道橋9橋の点検・補修及び耐震化を継続的に実施するには、予算確保並びに技術者の確保・育成が必要。</p>	<p>課題を踏まえた今後(令和3年度以降)の事業の方向性</p> <p>現状維持</p> <p>《上記方向性の理由・今後のスケジュール等》 損傷程度や重要性を考慮し、優先順位を決め、効率的な事業遂行に取組むために、引き続き、国の補助金を活用するとともに、事業実施のために必要な人員を確保していく。</p>

行政評価シート(令和元年度実施事業)

1 事務事業名・総合計画の体系等

第3期実施計画の事業名	都市計画道路明示測量事業				財務会計上の事業名	都市計画道路明示測量事業
第3期実施計画の区分章/節(施策)/項目/事業番号	1	4	1	2	担当部署名	まちづくり・交通課
総合計画の体系	章	第1章にぎわいと活力あふれるまち				
	節(施策)	第4節道路網の整備				
	項目	項目1計画的な道路整備・管理の推進				

2 事業の概要

実施期間(第3期実施計画期間)	令和元年度～令和4年度
事業内容	都市計画道路区域内の建築行為に関して、土地所有者の申請に応じて、現地測量を実施し、申請地付近に計画道路中心線を設置し、明示指令図を交付する。
めざす姿(目標)	計画区域線を明確にし、都市計画道路の円滑な整備につなげる。
事業の対象(誰を、何を)	市民及び事業者
事業の手段・方法(どのように)	都市計画道路区域内の建築行為に関して、土地所有者の申請に応じて、現地測量を実施し、申請地付近にある計画道路中心線を設置し、明示指令図を交付する。
実施形態(直営/委託)	全部委託
関連計画	・池田市都市計画マスタープラン

3 事業費等

区分	H30年度	R元年度	R2年度
	(決算)	(決算)	(予算)
事業費(千円) A	0	33	130
主な内訳	委託料	0	33
財源	国・府支出金		
	地方債		
	その他()		
	うち受益者負担 B		
	一般財源 C	0	33
一般財源比率 C÷A		100.0%	100.0%
受益者負担率 B÷A			

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

指標値	指標の内容	実施計画策定時(H30年度)	実績(R元年度)	目標値(R4年度)
(活動・成果)	現地明示測量件数	0件	1件	4件
	☆成果の達成状況	A.順調に推移している		
	・上記「達成状況」選択の理由	申請に基づき明示測量を実施している。		
	☆目標達成のための有効な事業内容となっているか	A.有効的である(改善の余地がない)		
	☆事業は効率的に実施できているか	A.効率的である(改善の余地がない)		
	・上記「有効性・効率性」選択の理由	申請者の意向により明示測量ができる体制を整えていく必要があるため、改善の余地がない。		

5 事業の現状と今後の見通し

<p>本事業をとりまく状況の変化(社会情勢・ステークホルダー・要望等)</p> <p>H25年度からH27年度までに都市計画道路の見直しを行っており、今後の申請は限られてくる。</p>	
<p>目標達成に向けた課題</p> <p>申請者の意向により明示測量ができる体制を整えておく必要がある。</p>	<p>課題を踏まえた今後(令和3年度以降)の事業の方向性</p> <p>縮小</p> <p>《上記方向性の理由・今後のスケジュール等》 H25年度からH27年度までに都市計画道路の見直しを行っており、今後、申請は限られるため。</p>

行政評価シート(令和元年度実施事業)

1 事務事業名・総合計画の体系等

第3期実施計画の事業名	歩道改良事業				財務会計上の事業名	歩道改良事業
第3期実施計画の区分章/節(施策)/項目/事業番号	1	4	3	1	担当部署名	道路・河川課
総合計画の体系	章	第1章にぎわいと活力あふれるまち				
	節(施策)	第4節道路網の整備				
	項目	項目3市内幹線道路の整備				

2 事業の概要

実施期間(第3期実施計画期間)	令和元年度～令和4年度
事業内容	経年劣化により損傷箇所が多い市内幹線道路に対して、バリアフリーに配慮した歩道を整備する。
めざす姿(目標)	バリアフリーに配慮した歩道を整備することで、安全で快適な歩行空間を確保する。
事業の対象(誰を、何を)	歩道
事業の手段・方法(どのように)	池田市交通バリアフリー基本構想に準じ、歩道の改良・拡張、透水性舗装、視覚障がい者誘導ブロック等を施工する。
実施形態(直営/委託)	直営
関連計画	・池田市交通バリアフリー基本構想

3 事業費等

区分	H30年度	R元年度	R2年度	指標値(活動・成果)	指標の内容	実施計画策定時(H30年度)	実績(R元年度)	目標値(R4年度)		
	(決算)	(決算)	(予算)							
事業費(千円) A	14,770	12,000	11,000	整備延長	350m/年	189.7m/年	400m/年			
主な内訳	請負費	14,770	12,000							
財源	国・府支出金			☆成果の達成状況	A.順調に推移している					
	地方債				・上記「達成状況」選択の理由	限られた予算の中、路線の重要度や要望等から総合的に判断した上で整備しているため。				
	その他(交通対策特交金)		3,413		1,000	☆目標達成のための有効な事業内容となっているか	A.有効的である(改善の余地がない)			
	うち受益者負担 B					☆事業は効率的に実施できているか	B.改善の余地がある			
	一般財源 C	14,770	8,587		10,000	・上記「有効性・効率性」選択の理由	本事業は、街路樹による根上りや経年劣化による歩道の機能低下の改善を図るために有効。一方、事業の効率性については、予算の縮小傾向により整備率への影響も懸念される中、率先して歩道のバリアフリー化を進めているために、歩道整備計画の策定と事業費の確保が必要。			
一般財源比率 C÷A	100.0%	71.6%	90.9%							
受益者負担率 B÷A										

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

5 事業の現状と今後の見通し

<p>本事業をとりまく状況の変化(社会情勢・ステークホルダー・要望等)</p> <p>高齢化社会が進んでいる中、歩きやすい歩道に対する市民の関心が高まっている状況。一方、市内の歩道については、全体的に歩道幅員が狭く、街路樹による根上りや舗装の劣化が見受けられ、また、勾配が急な箇所も多く早急に歩道改良が必要となる状況。現在、路線の重要度や要望等から総合的に判断した上で、歩道のバリアフリー化や部分改良を進めているが、場所によっては地形的、用地的な制約があり対応に苦慮しているところ。</p>	
<p>目標達成に向けた課題</p> <p>事業の効率性について、予算が縮小傾向により、歩道の整備率への影響も懸念される中、歩道のバリアフリー化や部分改良を効率的かつ効果的に遂行していくために、歩道整備計画の策定と継続的に事業費の確保が必要。</p>	<p>課題を踏まえた今後(令和3年度以降)の事業の方向性</p> <p>現状維持</p> <p>《上記方向性の理由・今後のスケジュール等》 歩道のバリアフリー化を進めていくことにより、市民の安全対策やウォークアブルな道路空間に寄与するため、今後も事業を継続するものとする。</p>

行政評価シート(令和元年度実施事業)

1 事務事業名・総合計画の体系等

第3期実施計画の事業名	狭あい道路整備促進補助事業				財務会計上の事業名	狭隘道路整備促進補助事業
第3期実施計画の区分章/節(施策)/項目/事業番号	1	4	4	1	担当部署名	道路・河川課
総合計画の体系	章	第1章にぎわいと活力あふれるまち				
	節(施策)	第4節道路網の整備				
	項目	項目4生活道路の整備と狭あい道路の解消				

2 事業の概要

実施期間(第3期実施計画期間)	令和元年度～令和4年度
事業内容	私有地の後退部分を市道及び市所有道路として寄付を行う場合に、補助金を交付する。
めざす姿(目標)	狭あい道路の解消を図る。
事業の対象(誰を、何を)	建築物の建築行為を行う土地所有者等。
事業の手段・方法(どのように)	道路後退部分の分筆登記費用及び舗装工事等に対し、寄付を前提に助成する。
実施形態(直営/委託)	直営
関連計画	・池田市都市計画マスタープラン

3 事業費等

区分	H30年度	R元年度	R2年度	指標値(活動・成果)	指標の内容	実施計画策定時(H30年度)	実績(R元年度)	目標値(R4年度)
	(決算)	(決算)	(予算)					
事業費(千円) A	6,813	8,285	8,000	指標値(活動・成果)	整備延長	95m/年	183m/年	125m/年
主な内訳								
補助金	6,813	8,285	8,000					
☆成果の達成状況					A.順調に推移している			
財源	国・府支出金	1,880	2,248	2,666	・上記「達成状況」選択の理由	本事業により狭あい道路が解消され、将来的に緊急車両等が通行可能な道路を確保できているため。		
	地方債							
	その他()				☆目標達成のための有効な事業内容となっているか	A.有効的である(改善の余地がない)		
	うち受益者負担 B				☆事業は効率的に実施できているか	B.改善の余地がある		
一般財源 C	4,933	6,037	5,334	・上記「有効性・効率性」選択の理由	狭あい道路を解消し、将来的に緊急車両等が通行可能な道路を確保するためには有効な手法であるが、助成金では整備が困難な場合があり、制度見直しの検討が必要。			
一般財源比率 C÷A	72.4%	72.9%	66.7%					
受益者負担率 B÷A								

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

5 事業の現状と今後の見通し

<p>本事業をとりまく状況の変化(社会情勢・ステークホルダー・要望等)</p> <p>道路と高低差がある箇所や交差点箇所等に位置する敷地に対する助成制度の見直しを検討する必要がある。</p>	
<p>目標達成に向けた課題</p> <p>寄付が成立しない場合について、空地は確保されることとなるが、道路形態とはならないため、狭あい道路が解消されない場合がある。</p>	<p>課題を踏まえた今後(令和3年度以降)の事業の方向性</p> <p>現状維持</p> <p>《上記方向性の理由・今後のスケジュール等》 要綱の見直しや助成の対象拡充、用地買上げ等を含め、更なる狭あい道路の解消に向けた検討が必要。</p>

行政評価シート(令和元年度実施事業)

1 事務事業名・総合計画の体系等

第3期実施計画の事業名	市道敷地取得測量事業				財務会計上の事業名	市道敷地取得測量事業
第3期実施計画の区分章/節(施策)/項目/事業番号	1	4	4	2	担当部署名	道路・河川課
総合計画の体系	章	第1章にぎわいと活力あふれるまち				
	節(施策)	第4節道路網の整備				
	項目	項目4生活道路の整備と狭あい道路の解消				

2 事業の概要

実施期間(第3期実施計画期間)	令和元年度～令和4年度
事業内容	市道敷地の権原取得に伴い、測量・分筆を行う。
めざす姿(目標)	道路の寄付に対して測量・分筆を行い、適正な道路管理を行う。
事業の対象(誰を、何を)	道路後退部分の寄付を受けた道路敷地。
事業の手段・方法(どのように)	測量及び分筆作業を行う。
実施形態(直営/委託)	全部委託
関連計画	

3 事業費等

区分	H30年度	R元年度	R2年度	指標値(活動・成果)	指標の内容	実施計画策定時(H30年度)	実績(R元年度)	目標値(R4年度)	
	(決算)	(決算)	(予算)						
事業費(千円) A	314	808	2,000	☆活動・成果	測量件数		3件/年	7件/年	
主な内訳	測量委託料	314	808		2,000				
☆成果の達成状況					A.順調に推移している				
財源	国・府支出金				・上記「達成状況」選択の理由	寄付や帰属による土地の分筆測量を行ったうえで所有権を移転させ、本市の道路として管理を行うことができる。			
	地方債								
	その他(道路占用料)	314	808	2,000	☆目標達成のための有効な事業内容となっているか	A.有効的である(改善の余地がない)			
	うち受益者負担 B				☆事業は効率的に実施できているか	A.効率的である(改善の余地がない)			
一般財源 C				・上記「有効性・効率性」選択の理由	寄付や帰属による土地の分筆測量を行ったうえで所有権を移転させ、本市の道路として管理を行うことができる。				
一般財源比率 C÷A									
受益者負担率 B÷A									

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

5 事業の現状と今後の見通し

<p>本事業をとりまく状況の変化(社会情勢・ステークホルダー・要望等)</p> <p>狭あい道路整備の一環となる土地取得のため、本事業の推進が必要。</p>	
<p>目標達成に向けた課題</p> <p>今後も引き続き、測量及び分筆作業を継続していく必要がある。</p>	<p>課題を踏まえた今後(令和3年度以降)の事業の方向性</p> <p>現状維持</p> <p>《上記方向性の理由・今後のスケジュール等》</p> <p>今後も引き続き、測量及び分筆作業を継続していく必要がある。</p>

行政評価シート(令和元年度実施事業)

1 事務事業名・総合計画の体系等

第3期実施計画の事業名	道路維持管理事業				財務会計上の事業名	道路維持管理事業・道路維持委託事業 道路維持工事
第3期実施計画の区分 章/節(施策)/項目/事業番号	1	4	4	3	担当部署名	道路・河川課
総合計画の体系	章	第1章にぎわいと活力あふれるまち				
	節(施策)	第4節道路網の整備				
	項目	項目4生活道路の整備と狭あい道路の解消				

2 事業の概要

実施期間(第3期実施計画期間)	令和元年度～令和4年度
事業内容	市内一円の市道と市管理道路の維持補修工事や清掃、植栽管理作業により、快適な道路機能を維持する。
めざす姿(目標)	市道212km、市有道路10km、里道153kmの道路維持を実施し、車両や歩行者の円滑な通行を確保する。
事業の対象 (誰を、何を)	市内一円の市道及び市管理道路
事業の手段・方法 (どのように)	適切な維持管理を行う。
実施形態(直営/委託)	一部委託
関連計画	

3 事業費等

区分	H30年度 (決算)	R元年度 (決算)	R2年度 (予算)	指標 値 (活動・ 成果)	指標の内容	実施計画策定時 (H30年度)	実績 (R元年度)	目標値 (R4年度)
	事業費(千円) A	183,701	170,084					
主な内訳	補助金	16,920	18,274	43,128				
	委託料	34,280	29,152	30,024				
	請負費	124,331	114,631	100,000				
☆成果の達成状況					A.順調に推移している			
財源	国・府支出金		404		・上記「達成状況」選択の理由	道路及び付属施設について、点検や補修等の維持管理ができていないため。		
	地方債					A.有効的である(改善の余地がない)		
	その他(道路占用料他)	63,693	62,683	60,765	☆目標達成のための有効な事業内容となっているか	B.改善の余地がある		
	うち受益者負担 B				☆事業は効率的に実施できているか	池田みどりスポーツ財団に支出している補助金の見直しが必要。		
一般財源 C	120,008	106,997	138,603	・上記「有効性・効率性」選択の理由				
一般財源比率 C÷A	65.3%	62.9%	69.5%					
受益者負担率 B÷A								

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

5 事業の現状と今後の見通し

<p>本事業をとりまく状況の変化(社会情勢・ステークホルダー・要望等)</p> <p>道路インフラの老朽化に伴う補修の要望に加え、草刈や剪定等の維持管理の要望が増加傾向となっている。また、大雨や豪雨災害に対する緊急対応や対策について、関係部署と連携した取組みが必要。</p>	
<p>目標達成に向けた課題</p> <p>大雨や豪雨災害に対する対応や対策が増加していくと道路インフラの老朽化に伴う補修のペースが落ち込んでしまう。</p>	<p>課題を踏まえた今後(令和3年度以降)の事業の方向性</p> <p>現状維持</p> <p>《上記方向性の理由・今後のスケジュール等》 道路及び付帯施設の維持管理については、多数の要望をいただいている中で、順次、補修等の対応を実施しているところ。引き続き、本事業の推進が必要。</p>

行政評価シート(令和元年度実施事業)

1 事務事業名・総合計画の体系等

第3期実施計画の事業名	道路放置車両等移動処分事業				財務会計上の事業名	道路橋りょう総務一般事務事業
第3期実施計画の区分章/節(施策)/項目/事業番号	1	4	4	4	担当部署名	道路・河川課
総合計画の体系	章	第1章にぎわいと活力あふれるまち				
	節(施策)	第4節道路網の整備				
	項目	項目4生活道路の整備と狭あい道路の解消				

2 事業の概要

実施期間(第3期実施計画期間)	令和元年度～令和4年度
事業内容	市道上に放置されている車両・廃家電・産業廃棄物・自転車などを適切に処理する。
めざす姿(目標)	市道上に放置されている車両・廃家電・産業廃棄物・自転車などを適切に処理し、通行の安全を確保する。
事業の対象(誰を、何を)	市内一円の市道及び市管理道路上に放置されている車両等。
事業の手段・方法(どのように)	一時撤去及び保管したうえで、必要に応じて処分を実施。
実施形態(直営/委託)	一部委託
関連計画	

3 事業費等

区分	H30年度	R元年度	R2年度	指標値(活動・成果)	指標の内容	実施計画策定時(H30年度)	実績(R元年度)	目標値(R4年度)		
	(決算)	(決算)	(予算)							
事業費(千円) A	2,661	2,818	1,711	放置車両数	0台/年	0台/年	0台/年			
主な内訳	処分委託料	163	394							
☆成果の達成状況					A.順調に推移している					
財源	国・府支出金			☆目標達成のための有効な事業内容となっているか	☆事業は効率的に実施できているか	A.有効的である(改善の余地がない)				
	地方債									
	その他(証紙収入他)	394	288						1,292	
	うち受益者負担 B									
一般財源 C	2,267	2,530	419	A.効率的である(改善の余地がない)						
一般財源比率 C÷A	85.2%	89.8%	24.5%							
受益者負担率 B÷A				☆上記「有効性・効率性」選択の理由						

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

5 事業の現状と今後の見通し

<p>本事業をとりまく状況の変化(社会情勢・ステークホルダー・要望等)</p> <p>放置車両が発生すると周辺環境の悪化が懸念されることから、早急な対応が必要。</p>	
<p>目標達成に向けた課題</p> <p>庁舎の地下駐車場が放置車両の保管場所となっていることから、放置車両が増加した場合の対応が困難となる。</p>	<p>課題を踏まえた今後(令和3年度以降)の事業の方向性</p> <p>現状維持</p> <p>《上記方向性の理由・今後のスケジュール等》 放置車両の発生台数が年1～2台程度となっており、適切な処理が実施できている。</p>

行政評価シート(令和元年度実施事業)

1 事務事業名・総合計画の体系等

第3期実施計画の事業名	交通安全対策事業				財務会計上の事業名	交通安全施設整備事業 交通安全施設維持管理事業
第3期実施計画の区分 章/節(施策)/項目/事業番号	1	4	4	5	担当部署名	道路・河川課
総合計画の体系	章	第1章にぎわいと活力あふれるまち				
	節(施策)	第4節道路網の整備				
	項目	項目4生活道路の整備と狭あい道路の解消				

2 事業の概要

実施期間(第3期実施計画期間)	令和元年度～令和4年度
事業内容	街路灯、道路反射鏡、防護柵、区画線、自転車レーンなどの施設の新設、修繕を行い、各種交通安全対策を行う。
めざす姿(目標)	街路灯や道路反射鏡、防護柵の新設、修繕を進めるとともに、自転車レーンを延伸し、交通事故の発生を抑制する。
事業の対象 (誰を、何を)	市道及び市管理道路
事業の手段・方法 (どのように)	交通安全対策として自転車レーン、グリーンベルト、道路反射鏡、防護柵及び区画線等を設置する。
実施形態(直営/委託)	直営
関連計画	—

3 事業費等

区分	H30年度 (決算)	R元年度 (決算)	R2年度 (予算)	指標値 (活動・成果)	指標の内容	実施計画策定時 (H30年度)	実績 (R元年度)	目標値 (R4年度)
	事業費(千円) A	85,221	90,388					
主な内訳	請負費	23,327	23,526	24,000	通学路歩道整備延長	29.3km	30.2km	32.1km
	光熱水費	19,455	19,563	20,069	交通事故発生件数	58件/年	58件/年	40件/年
	修繕料	23,129	29,126	20,877				
☆成果の達成状況					A.順調に推移している			
財源	国・府支出金	3,213	5,500	4,675	・上記「達成状況」選択の理由	交通安全施設の改良を図り、安心・安全な道づくりが進んでいるため。		
	地方債							
	その他(交通対策特交金)	21,400	17,887	23,206	☆目標達成のための有効な事業内容となっているか	A.有効的である(改善の余地がない)		
	うち受益者負担 B				☆事業は効率的に実施できているか	A.効率的である(改善の余地がない)		
	一般財源 C	60,608	67,001	53,732	・上記「有効性・効率性」選択の理由	交通安全施設の改良について、国の交付金等を活用しながら、有効かつ効率的に実施し、安心・安全な道づくりに寄与しているため。		
一般財源比率 C÷A	71.1%	74.1%	65.8%					
受益者負担率 B÷A								

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

5 事業の現状と今後の見通し

<p>本事業をとりまく状況の変化(社会情勢・ステークホルダー・要望等)</p> <p>通学路や未就学児等が日常的に移動する経路等の交通安全の確保に向けた着実かつ効果的な取り組みの一環として、通学路交通安全プログラムや市民要望に基づき事業を進めているところ。</p>	
<p>目標達成に向けた課題</p> <p>通学路や生活道路の安全対策について、社会的な関心も高まっており、より一層、継続的かつ効果的な施策が求められている。</p>	<p>課題を踏まえた今後(令和3年度以降)の事業の方向性</p> <p>現状維持</p> <p>《上記方向性の理由・今後のスケジュール等》 交通安全対策特別交付金や国の交付金を活用しながら、今後も事業を継続していく。</p>

行政評価シート(令和元年度実施事業)

1 事務事業名・総合計画の体系等

第3期実施計画の事業名	道路再整備事業				財務会計上の事業名	道路再整備事業
第3期実施計画の区分章/節(施策)/項目/事業番号	1	4	4	6	担当部署名	道路・河川課
総合計画の体系	章	第1章にぎわいと活力あふれるまち				
	節(施策)	第4節道路網の整備				
	項目	項目4生活道路の整備と狭あい道路の解消				

2 事業の概要

実施期間(第3期実施計画期間)	令和元年度～令和4年度
事業内容	老朽化する道路ストック(舗装、道路付属物など)に対して、適切な調査、点検、補修を行う。
めざす姿(目標)	道路ストックの調査、点検、補修を行い、安全な道路網を確保する。また、石橋駅周辺の道路整備を行い、にぎわいを創出する。
事業の対象(誰を、何を)	老朽化する道路ストック及び駅周辺の再整備
事業の手段・方法(どのように)	維持管理計画の策定及び実施(調査・点検・補修)及び都市再生整備計画に基づく駅前再整備
実施形態(直営/委託)	直営
関連計画	

3 事業費等

区分	H30年度	R元年度	R2年度	指標値(活動・成果)	指標の内容	実施計画策定時(H30年度)	実績(R元年度)	目標値(R4年度)
	(決算)	(決算)	(予算)					
事業費(千円) A	47,520	29,480	81,000	景観舗装面積	800㎡	945.4㎡	3,800㎡	
主な内訳								
請負費	47,520	29,480	81,000					
財源				☆成果の達成状況	A.順調に推移している			
国・府支出金	16,900	20,900	40,500	・上記「達成状況」選択の理由	国の交付金を活用しながら、着実に事業執行できているため。			
地方債	22,800		36,400					
その他(道路掘削跡復旧事業収入)	3,094			☆目標達成のための有効な事業内容となっているか	A.有効的である(改善の余地がない)			
うち受益者負担 B				☆事業は効率的に実施できているか	B.改善の余地がある			
一般財源 C	4,726	8,580	4,100	・上記「有効性・効率性」選択の理由	石橋駅前駅周辺の舗装美装化事業については、国の交付金を活用しながら、計画的に事業執行しており、にぎわい創出の観点より有効性が高い。一方、老朽化する道路ストック対策については、国の交付金が困難な状況であるが、事業費の確保が必要。			
一般財源比率 C÷A	9.9%	29.1%	5.1%					
受益者負担率 B÷A								

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

5 事業の現状と今後の見通し

<p>本事業をとりまく状況の変化(社会情勢・ステークホルダー・要望等)</p> <p>道路の老朽対策に関する取組については、平成24年度笹子トンネル天井板落下事故を受けて、平成25年度に道路法改正により点検基準の法定化を行い、本格的に道路の老朽化対策が進められているところ。 本市においては、国の交付金を活用しながら石橋駅前駅周辺の舗装の美装化を計画的に実施しているが、老朽化した道路ストックの修繕、更新に関しては、近年、国の交付金が困難な状況。</p>	
<p>目標達成に向けた課題</p> <p>道路ストック老朽化対策について、国の交付金が困難な状況のため事業の進捗が遅れている状況。</p>	<p>課題を踏まえた今後(令和3年度以降)の事業の方向性</p> <p>現状維持 《上記方向性の理由・今後のスケジュール等》 道路ストックの老朽化対策は、まちづくりの基盤となる事業となるため、今後も引き続き、国の交付金等の動向を踏まえながら、事業費確保に向けて進めていく方向。</p>